

日本測地学会第122回講演会プログラム

期日:2014年11月5日(水) ~ 2014年11月7日(金)

会場:つくばサイエンス・インフォメーションセンター 〒305-0031 茨城県つくば市吾妻1-10-1

講演会会場:大会議室(3F)

主催:日本測地学会 共催:国土地理院

講演会予定表

日時	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
11月4日 (火)							石岡測地観測局見学ツアー 14:30~17:00			
11月5日 (水)		惑星測地 海洋測地 1-10 9:30~12:00			SAR(1) 11-16 13:00~14:30		GPS(1) 17-22 14:40~16:10	GPS(2) 南極測地 アウトリーチ 23-28 16:20~17:50	ポスター P1-P18 17:50~ 18:50	
11月6日 (木)		測地(1) 地殻変動(1) 29~34 9:15~10:45	測地(1) 地殻変動(1) 35~40 10:55~12:25	評議会 (3F大会 議室)	測地学会 60周年 記念講演 13:25~15:05		坪井賞 授賞式 受賞講演 15:15~ 16:05	SAR(2) 41~47 16:15~18:00		懇親会 (別会場) 18:40~
11月7日 (金)		測地(2) 重力 48~53 9:15~10:45	測地(2) 重力 54~59 10:55~12:25		地殻変動(2) 60~68 13:25~15:40		理論測地 計測技術 69~75 15:50~17:35	学生優秀発表賞発表	閉会宣言	
11月8日 (土)			公開講座 10:00~12:00							

※発表時間は質疑を含め、各15分(測地学会60周年記念講演は各45分、坪井賞受賞講演は40分)です。多くの講演がありますので時間厳守にご協力願います。

※発表用PCは、Windows 8.1とMacを用意いたします。プレゼンテーションのソフトはPowerPoint 2013(Win)、PowerPoint 2011(Mac)、Keynote 09(Mac)及びAdobe Readerが使用できます。その他のソフトのご利用を希望される場合は、予めプログラム委員(prog@geod.jp)へご相談ください。また、ご自分の発表セッションの前に、発表資料を発表用PCにコピーするようにしてください。

【石岡測地観測局見学ツアー】 11月4日(火) 14:30~17:00

集合場所:つくば駅前広場駐車場(つくばエクスプレス つくば駅 A3出口すぐ)
バス座席数に限りがありますので、事前参加登録が必要です。

【展示】 Dagik Earth(京都大学理学研究科)、EPS、測位衛星技術株式会社

会場:中会議室(3F)

【ポスターセッション】 コアタイム 11月5日(水) 17:50~18:50(掲示は7日(金)13:30まで) 会場:中会議室(3F)

サイズは縦120cm、横90cm以内で作成してください。

【公開講座】 11月8日(土) 10:00~12:00(9:30開場) 会場:大会議室(3F)

「地球の形を測る ~古代ギリシャから人工衛星まで~」

入場無料、参加登録不要(先着順、定員約100名)

講師) 日置幸介(北海道大学理学研究院教授)

西村卓也(京都大学防災研究所准教授)

宗包浩志(国土地理院)

11月5日(水)

9:25~9:30 開会宣言

9:30~12:00 惑星測地, 海洋測地

座長: 山本圭香 (JAXA)

横田裕輔 (海洋情報部)

1. 衛星重力データおよびトリウム分布データを用いた月の地殻形成過程についての考察
JAXA #山本圭香, 春山純一,
大竹真紀子, 岩田隆浩,
石原吉明
京大院理 福田洋一
2. GRAIL の Level-1b データを用いた月の局所的な重力異常の推定と Level-2 及び LRO 地形データを用いたピンポイント密度推定
北大院理 #橋本実奈, 日置幸介
3. アポロ月震計による走時データと最新の測月データから推定される月内部構造
国立天文台 #松本晃治, 山田竜平,
菊池冬彦, 花田英夫
UCSC 鎌田俊一
JAXA 石原吉明, 岩田隆浩
大阪大 佐々木晶
4. 月面天測望遠鏡の地上モデルを用いた精度評価と観測実験
国立天文台 #鶴田誠逸, 花田英夫,
浅利一善, 荒木博志,
野田寛大, 鹿島伸悟
岩手大 船崎健一, 佐藤淳,
谷口英夫, 加藤大雅,
菊池護, 横川琳吾,
新毛将太
5. 海底地殻変動観測の観測効率向上の試み
海洋情報部 #石川直史, 渡辺俊一,
横田裕輔, 秋山裕平
6. 東北沖地震前後における南海トラフ沿いの海底の移動速度
海洋情報部 #横田裕輔, 石川直史,
渡辺俊一
7. 東北沖地震後の海底地殻変動
海洋情報部 #渡辺俊一, 石川直史,
横田裕輔, 佐藤まりこ
東北大災害研 木戸元之
8. 海底地殻変動観測による 2011 年東北沖地震後の太平洋プレートにおける高変位速度の検出
東北大院理 #富田史章, 長田幸仁,
太田雄策
東北大災害研 木戸元之, 飯沼卓史,
日野亮太
9. 東北地方太平洋沖地震後の日本海溝沿いの海底地殻変動
東北大災害研 #木戸元之, 日野亮太,
飯沼卓史, 東龍介,
和田育子, 今野美冴,
中山貴史, 三浦哲
東北大院理 富田史章, 長田幸仁,
太田雄策
防災科研 藤本博己
10. 係留ブイを用いたリアルタイム津波・海底地殻変動連続観測において GPS/音響結合方式により得られたデータの精度評価
東北大院理 #今野美冴, 太田雄策
東北大災害研 木戸元之
JAMSTEC 高橋成実, 福田達也,
越智寛

12:00~13:00 昼休み

13:00～14:30 SAR(1)

座長：古屋正人（北大院理）
森下遊（国土地理院）

11. 航空機 SAR PiSAR2 による剣岳の氷河
観測

北大院理 #古屋正人

立山カルデラ砂防博物館

福井幸太郎

NICT

松岡建志, 児島正一郎

北大低温研 杉山慎

北大地環研 澤柿教伸

12. ALOS/PALSAR を用いた Svalbard, Novaya

Zemlya における氷河流動速度の測定

北大院理 #小沼義季, 古屋正人

13. 2 重差分干渉 SAR で検出されたグリーン
ランド氷床上の小規模で非定常的な変位

極地研・総研大 #土井浩一郎

総研大 白水薫

RESTEC 山之口勤

日本大 中村和樹

14. サージ型氷河の静穏期における冬期加
速:観測と解釈

北大院理 #阿部隆博, 古屋正人

15. PSI の精度検証 ～L バンドと C バンド～

国土地理院 #森下遊, 小林知勝

16. ALOS による全国 SAR 干渉解析の実証実験

国土地理院 #山田晋也, 森下遊

14:40～16:10 GPS(1)

座長：辻宏道（国土地理院）
佐藤一敏（JAXA）

17. 降雪が GEONET 測位解に及ぼす影響に
ついて

国土地理院 #今給黎哲郎, 宗包浩志,
佐藤雄大

18. 巨大地震発生域に生じる ITRF 座標系の
乱れ ～2011 年東日本大地震後の GEON
ET 観測点を例として～

防災科研 #島田誠一

19. 2011 年東北地方太平洋沖地震の GEON
ET への影響 -F3 解と IGS 解のわずかな
乖離-

国土地理院 #辻宏道, 鎌苅裕紀,
古屋智秋, 万所求,
宮川康平, 佐藤雄大,
宗包浩志, 畑中雄樹

20. リアルタイム GNSS データを用いた CMT
解の推定手法の評価

北大院理 #平田雄一郎, 太田雄策

国土地理院 川元智司

東北大災害研 日野亮太

21. 複数 GNSS 対応高精度軌道・時刻推定
ツール MADOCA を用いた精密単独搬送
波位相測位 (PPP) 技術の研究開発

JAXA #佐藤一敏, 三吉基之,
河手香織, 小暮聡

22. マルチ GNSS による高精度測位技術の
開発 -ISB 補正の効果-

国土地理院 #鎌苅裕紀, 古屋智秋,
万所求, 辻宏道,
田中和之, 宮川康平,
佐藤雄大, 畑中雄樹,
宗包浩志, 川元智司
文科省 酒井和紀

16:20~17:50 GPS(2), 南極測地,
アウトリーチ

17:50~18:50 ポスターセッション

座長: 太田雄策 (東北大院理)
青山雄一 (極地研)

11月6日(木)

9:15~12:25 測地(1), 地殻変動(1)

23. 2014年Kelud火山の噴火が励起した電離圏
の振動 -GNSS-TEC 法による観測-
北大院理 #中島悠貴, 日置幸介,
竹尾明子
スバヤ工科大 M. N. Cahyadi
インドネシア測量地図庁 Arif Aditiya

座長: 福崎順洋 (国土地理院)
宗包浩志 (国土地理院)

24. PPP 解析にもとづく噴煙柱モニタリングの
試み
-搬送波位相残差と SNR データの比較-
東北大院理 #太田雄策
京大防災研 井口正人

29. 精密軌道決定において経験的加速度推定
が測地パラメータに与える影響
一橋大 #大坪俊通
NICT 久保岡俊宏
京大院理 松尾功二

25. GOCE EGM を用いた南極昭和基地周辺
の精密重力場決定
京大院理 #福田洋一
極地研 野木義史
産総研 松崎和也

30. 新しいジオイド・モデル「日本のジオイド
2011」の構築
国土地理院 #小島秀基, 兒玉篤郎,
宮原伐折羅, 黒石裕樹

26. 昭和基地の長周期海面水位変動再考
極地研 #渋谷和雄, 早河秀章

31. セミ・ダイナミック測地系における地殻変動
補正パラメータの精度評価 ~精密単独測位
結果に対する効果の検証~
国土地理院 #小門研亮, 豊福隆史,
山下達也

27. GNSS を用いたセール・ロンダーネ山地に
おける氷床流動と表面形状の測定
極地研・総研大 #青山雄一, 土井浩一郎,
菅沼悠介, 岡田雅樹
京大院理 福田洋一
総研大 白水薫

32. VGOS 観測局の整備(その3)
国土地理院 #福崎順洋, 和田弘人,
黒田次郎, 栗原忍,
川畑亮二, 若杉貴浩

28. 4次元デジタル地球儀 Dagik Earth の固
体地球科学系コンテンツの拡充について
京大院理 #風間卓仁, 齊藤昭則,
小田木洋子
愛媛大 市川浩樹

33. 丸い地球における地震時変動の理論計
算:その3次元描像
東大地震研 #高木悠, 大久保修平

34. ダイク貫入時の非地震性横ずれ滑りの検
出:2007年タンザニア北部
北大院理 #姫松裕志, 古屋正人

35. 北海道北部のブロック収束境界で発生する浅い SSE について
 北大院理 #池田将平, 日置幸介
 13:25~15:05 測地学会 60 周年記念講演
 「移動体上重力測定とその思い出など」
 瀬川爾朗
36. 1981 年以降の東海長期 SSE のサイズ・継続時間の考察
 産総研 #落唯史
 「見果てぬ夢か, 地震予知」
 田中寅夫
37. データ同化による余効すべり発生域の摩擦パラメータ推定
 ~パラメータ分布の空間解像度の検証~
 東大院情報理工 #鈴木皓博, 長尾大道, 駒木文保
 東大地震研 加納将行, 長尾大道
 京大院理 宮崎真一
 15:15~16:05 坪井賞授賞式
 受賞記念講演
- T1. 海底地殻変動観測の包括的精度評価と東北日本沖における海底地殻変動の解明
 海上情報部 #佐藤まりこ
 16:15~18:00 SAR(2)
 座長: 高田陽一郎(京大防災研)
 木下陽平(北大院理)
38. アンサンブルカルマンフィルタを用いたスロースリップを引き起こす断層面上の摩擦パラメータ推定についての数値実験
 京大院理 #奥田亮介, 平原和朗, 宮崎真一, 大谷真紀子
 東大地震研 加納将行
 41. InSAR と GPS を用いた歪集中帯における地震間地殻変動検出の試み
 京大防災研 #高田陽一郎, 西村卓也
 名大減災セ 鷺谷威
39. すべり速度の同化による 2003 年十勝沖地震余効すべり域の摩擦パラメータの推定
 東大地震研 #加納将行
 京大院理 宮崎真一, 平原和朗
 JAMSTEC 石川洋一, 日吉善久
 琉球大 伊藤耕介
 42. ALOS/PALSAR で捉えたチンチョナ地震 (Mw 6.1, コスタリカ) に伴う地震時地殻変動と地すべりシグナル
 北大院理 #梅村宗太郎, 古屋正人
40. 三宅島 2000 年噴火のカルデラ形成期に観測された 50 秒パルス力源の再検討
 -キネマティック GPS 解析から分かったこと-
 国土地理院 #宗包浩志, 小林知勝
 東大地震研 及川純
 43. SAR 干渉解析による口永良部島の地殻変動
 防災科研 #小澤拓
- 12:25~13:25 昼休み
 12:25~13:25 日本測地学会評議会
 44. X-band SAR 衛星・COSMO-SkyMed による桜島の地殻変動観測
 防災科研 #宮城洋介, 小澤拓
 JAXA 島田政信

45. 衛星搭載合成開口レーダーによる 20 年間の京都盆地～大阪平野の地盤変動
京大防災研 #橋本学
防災科研 小澤拓

46. データ同化を利用した InSAR における局所的な水蒸気シグナルの再現実験
北大院理 #木下陽平, 古屋正人

47. DInSAR への ALOS/PRISM-DEM の適用 - 東南極宗谷海岸南部の事例 -
総研大 #白水薫
極地研・総研大 土井浩一郎, 青山雄一

18:40～ 懇親会(別会場)

11 月 7 日(金)

9:15～12:25 測地(2), 重力

座長: 名和一成 (産総研)
松尾功二 (京大院理)

48. フィリピンにおける空港座標のための長基線解析
(株)日豊 #伊藤広和, 田中穰,
新出陽平, 請井和之
JICA 岡田薫
防災科研 島田誠一
温地研 里村幹夫

49. 東メコン地域に於ける次世代航空保安システムへの移行に係る空港座標測量(その2)
(株)日豊 #新出陽平, 中川雄二,
伊藤広和, 諸井和之
JICA 岡田薫
防災科研 島田誠一
温地研 里村幹夫

50. 火山島の地下水面の潮汐変動に由来する重力擾乱 - 桜島の爆発直前の重力シグナルを求めて -
東大地震研 #大久保修平, 田中愛幸,
今西祐一
京大防災研 山本圭吾, 井口正人

51. 米国テキサス州ファンズワースにおける 2 台の iGrav 型超伝導重力計の並行観測
産総研 #名和一成, 杉原光彦,
宮川歩夢, 西祐司

52. 2013 年オホーツク深発地震の地震時重力変化
北大院理 #田中優作, 日置幸介
京大院理 松尾功二

53. 苫小牧沖における海底重力調査
産総研・応用地質(株) #駒澤正夫
産総研 大熊茂雄
川崎地質(株) 押田淳

54. 海底重力計 INO System の基本特性
応用地質(株) #下山みを, 三石晋,
駒澤正夫, 野崎京三
総合地質調査(株) 村岡淳, 村上文敏,
武田伸勝

55. 反作用補償機構を導入した絶対重力計用投げ上げ装置の性能評価
東大地震研 #酒井浩考, 新谷昌人
真英計測 坪川垣也

56. 日本重力基準網 2013 (JGSN2013) の構築
国土地理院 #宮崎隆幸, 吉田賢司,
宮原伐折羅

57. 重力場の扁長楕円体調和展開
国立天文台 #福島登志夫

58. 大規模な質量再分配によって駆動される地球重心の移動

京大院理 #松尾功二, 福田洋一
一橋大 大坪俊通

59. 独立成分分析による時系列重力データの解析

京大院理 #板倉 統, 福田洋一,
風間卓仁

12:25~13:25 昼休み

13:25~15:40 地殻変動(2)

座長: 飯沼卓史 (東北大災害研)
水藤尚 (国土地理院)

60. 南西アラスカの GIA における圧縮性の効果

東大地震研 #田中愛幸
東北大院理 佐藤忠弘, 太田雄作,
三浦哲
アラカ大 Jeffrey T. Freymueller
GFZ ホッナム Volker Klemann

61. 2011.3.11 以降の南鳥島の加速

北大院理 #日置幸介
静岡大 三井雄太

62. 海陸地殻変動観測に基づく2011年東北地方太平洋沖地震の余効変動の解析

東北大災害研 #飯沼卓史, 日野亮太,
木戸元之, 長田幸仁
NRC カダ 地質調査所 Wang Kelin
ビクトリア大 Sun Tianhaozhe
東北大院理 太田雄策, 三浦 哲

63. 2011年東北地方太平洋沖地震後の奥羽脊梁山脈沿いの余効ひずみ異常域

東北大院理 #三浦 哲, 太田雄策,
飯沼卓史, 出町知嗣,

立花憲司, 佐藤俊也
山形大 大園真子

64. 長岡平野西縁断層帯周辺における稠密GPS観測(その2):2011年東北地方太平洋沖地震の余効変動の詳細な時空間変化

名大減災セ #鷺谷威
地震予知総合研究振興会 関根秀太郎

65. 東北沖地震余効変動時系列の分析による余効滑りと粘弾性緩和の分離の試み

国土地理院 #飛田幹男, 赤司貴則,
宗包浩志, 水藤尚,
川元智司, 畑中雄樹,
矢来博司

66. 2011年東北地方太平洋沖地震の粘弾性緩和による変動の見積もり

国土地理院 #水藤尚

67. 静的歪変化を用いた巨大地震の即時規模把握

産総研 #板場智史

68. 湧水量変化の気圧応答に基づく水理学的特性の推定

奈良産業大 #向井厚志
神戸学院大 大塚成昭

15:50~17:35 理論測地, 計測技術

座長: 岳藤一宏 (NICT)
瀧口博士 (NICT)

69. 測地網の位置の正確度
#中根勝見

70. 同一ビーム内の複数静止衛星の VLBI 観測について(その1) 17:35～ 学生優秀発表賞発表
閉会宣言
NICT #近藤哲朗
スカパーJSAT(株) 市江泰英, 佐藤英治
71. 単一天体トラッキングによる VLBI 周波数比較法について
NICT #岳藤一宏, 関戸衛,
小山泰弘
チャルマス工科大 トマスホビガー
72. VLBI 周波数比較への応用と GALA-V システムの開発(IV)
NICT #関戸衛, 岳藤一宏,
氏原秀樹, 堤正則,
宮内結花, 近藤哲朗,
長谷川新吾, 瀧口博士,
川合栄治, 市川隆一,
小山泰弘
産総研 渡部謙一, 鈴山智也
73. 日本標準時の分散化 -GPS・衛星双方向同時キャリブレーション実験-
NICT #瀧口博士, 後藤忠広,
藤枝美穂, 中川史丸,
成田秀樹, 松原健祐,
今村 國康, 花土ゆう子
74. 熱赤外面像に写真測量を応用した 3次元地形モデル構築手法
北大地震火山センター #村上亮
75. GPS 津波計に関する最近の開発研究
東大地震研 #加藤照之
高知工業高専 寺田幸博
NICT 山本伸一
JAXA 橋本剛正, 本橋修
日立造船(株) 松下泰弘, 和田晃

ポスターセッション

コアタイム 11月5日(水) 17:50~18:50

P-1. 地上局用広帯域・広視野受信機システムの性能評価

国立天文台 #松本晃治, 菊池冬彦,
河野裕介, 浅利一善,
花田英夫
大阪大 佐々木晶

P-2. 海底地殻変動観測における重心推定法の効果

海洋情報部 #秋山裕平, 石川直史,
渡邊俊一, 横田裕輔

P-3. 津波監視および海底地殻変動観測用係留ブイにおけるGPSデータの精度評価

東北大院理 #太田雄策
東北大災害研 木戸元之, 日野亮太,
今野美冴
JAMSTEC 高橋成実, 石原靖久,
福田達也, 越智寛,
田原淳一郎, 森尚仁,
出口充康
JAXA 武藤勝彦, 橋本剛正,
本橋修

P-4. 国土地理院の干渉SAR事業の歴史と展望

国土地理院 #森下遊, 小林知勝,
矢来博司, 山田晋也,
山中雅之, 宗包浩志,
石本正芳, 飛田幹男

P-5. InSAR時系列解析を用いたMayon火山周辺における地殻変動

気象研 #安藤忍, 高木朗充

P-6. GEONETデータを用いた「だいち」SAR干渉画像の電離層補正手法の開発(その2)

国土地理院 #石本正芳, 宗包浩志

P-7. 三鷹相関器システムの更新と測地VLBIへの使用のための試験

国立天文台 #寺家孝明, 小山友明
(株)AES 西川誉

P-8. 軌道, 重力場推定のためのソフトウェアの開発

JAXA #山本圭香
オーストリア科学院 オリバー・バウア
一橋大 大坪俊通

P-9. 銚子付近の長期的スロースリップ

気象研 #小林昭夫, 弘瀬冬樹

P-10. GPSキャンペーン観測によるマヨン火山の地殻変動

気象研 #高木朗充, 安藤忍
気象庁 藤原健治
京大火山研 大蔵敬宏
PHIVOLCS Artemio C. Luis, Jr,
Alejo V. Baloloy,
Eduardo Laguerta,
Ma. Antonia V. Bornas

P-11. 2011年東北地震後に超遠方で検出された余効変動のメカニズムを検討する

静岡大 #三井雄太
北大院理 日置幸介

P-12. 銚子沖スロースリップと房総半島スロースリップに伴う体積ひずみ計の変化

気象研 #木村一洋

P-13. 気象庁メソ客観解析による大気質量の引力効果

東濃地震研 #田中俊行, 本多亮

P-14. 長町-利府断層帯周辺における重力探査

金沢大院 #和田茂樹
金沢大 澤田明宏, 平松良浩
東北大災害研 岡田真介
東濃地震研 本多亮, 田中俊行

P-15. 測量成果の品質尺度

#中根勝見

P-16. 広帯域バンド幅合成について

NICT #近藤哲朗, 岳藤一宏

P-17. GNSS/PPP 時間・周波数比較における
解析戦略の検討

NICT #市川隆一, 後藤忠広,
瀧口博士, 雨谷純,
宮内結花, 成田秀樹,
今村國康, 関戸衛

NICT・チャルマス工科大 #ヒガートマス

P-18. 地球の大規模な真の極移動の速度の
粘性構造依存性: 地球マントル内部の低粘
性領域が緩和モードの時定数に及ぼす潜
在的影響の評価

中国地質大 #原田雄司, 肖竜

会場案内図



①講演会場・公開講座会場

つくばサイエンス・インフォメーションセンター (TXつくば駅より徒歩3分)

②懇親会場

つくば国際会議場エスポワール (TXつくば駅より徒歩12分)

③国土地理院石岡測地観測局見学ツアー集合場所

つくば駅前広場駐車場 (出口A3すぐ)